



神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

# 神奈川イグレンニュース

## <第206号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）  
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛 賢司 後藤 暁  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7F  
 Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

## 2020年2月号

### イベントのお知らせ

#### → 第85回 西湘サロン

日時	2020年3月9日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）
場所	おだわら市民交流センターUMECO（JR小田原駅東口より徒歩約2分）
内容	<p>話題：『地球環境への取り組みの必要性』</p> <p>株式会社 日向 代表取締役社長 鳥辺 康則氏</p> <p>年々、地球がおかしくなっていると思いませんか？現在、環境対策を行っている大企業も多くなりました。私たち中小企業、どの業種でも簡単に出来る環境への取り組みを紹介させていただきます。</p> <p>・地球環境問題について ・解決方法 ・ミラクルな体験談 ・環境ビジネスについて</p>
参加費	1,500円（当日）

#### → 第55回 海老名サロン

日時	2020年3月13日（金）午後3時より
場所	神奈川中小企業センター6階 大研修室（JR関内駅徒歩約3分）
内容	<p>「大手製造業の国内回帰の動きについて」</p> <p>神奈川県異業種連携協議会事務局長 愛 賢司</p> <p>「わが社の事業紹介と得意技術そして航空宇宙産業への参入」</p> <p>大同工機株式会社営業部機械グループ シニアアドバイザー 三橋 繁氏</p> <p>①プラント機器の設計・製造・販売 ②工作機械の販売 ③ 航空宇宙産業への参入</p>
参加費	*資料代 1,000円 *交流会参加費 4,000円「とりろう」（関内駅前）

※ イベントの詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

## 今月のコンテンツ

1. テクニカルショウヨコハマ 2020 報告..... 2 ページ
2. 第54回 海老名サロン（1月31日）報告..... 4 ページ
3. 特別寄稿「人口増加率全国トップの村」 増田辰弘（アジアビジネス探索者） ..... 6 ページ
4. 新連載「社長さんへの手紙」 中小企業診断士 加藤文男..... 7 ページ
5. 閑中閑話..... 8 ページ
  - 巻末 第85回 「西湘サロン」のご案内
  - 第55回 「海老名サロン」のご案内
  - 第78回 アジアビジネス探索セミナーのご案内

### → テクニカルショウヨコハマ 2020 報告

# 第41回 テクニカルショウ 工業技術見本市 ヨコハマ 2020

恒例の「[テクニカルショウ・ヨコハマ](#)」が、2月5日（水）・6日（木）・7日（金）の3日間パシフィコ横浜展示ホールで開催されました。今回は、出展者数が約 820、来場者は 32,995 人（5日 10,029 人、6日 10,309 人、7日 12,657 人）を数えたとのこと。昨年の来場者数 35,359 人を下回りましたが、新型コロナウイルス感染症が響いたのではとされています。



さて、今回イグレンは、重点事業として積極的に取り組もうという総会での意志を受け、下記の点を改善しました。

- ❖ 2ブース確保して展示を行いました。
- ❖ 企業のサンプルは来場者が見やすいように通路側前面に配置し、説明者とやり取りがしやすいようにするなど、レイアウトも工夫しました。

- ❖ ポスターセッションは、多様な展示になるように意識して、事業・製品説明のパネルとともに絵画も出展していただきました。
- ❖ 今まで短時間でお願いしていた出展者セミナーについては、発表者の方が報告内容を十分説明できるように時間を確保するようにしました。



お陰様で、従来からご協力いただいている会員企業様や初めて展示会に参加されたという企業・個人の皆様に出展していただくことができ活気あふれる展示会を持つことができました。6日の中日には、今回初めての試みとしてイグレン独自の出展者交流会を催し、30人を超える参加者による活発な交流が行われました。

お忙しい中にもかかわらず、代表者の方を始めスタッフの方々をご派遣いただいたご参加企業の皆様に心からの感謝の意を表させていただきます。(文責 愛)

\*テクニカルショウの報告の続きは次号に掲載します。

## → 第54回 海老名サロン（1月31日）報告



コージュ株式会社 代表取締役  
速石敏雄氏

2020年最初の海老名サロンは、コージュ株式会社 代表取締役 速石敏雄氏を迎え、美味しい紅茶を試飲し、珍しいドライフルーツを試食しながら、食と健康について語り合うという、少し趣の異なる報告会となった。

いつもながら時間ギリギリで走りこんだ会場にはすでに紅茶の香りが漂っていた。慌ただしく席に着いたら、まずは紅茶を、と早速一杯いただき、ようやく一息つくことができた。見渡すと出席者はもうほとんど着席され、紅茶を飲み、穏やかに歓談している。いつもの海老名サロンとは違った雰囲気であった。

速石氏は、便利になったはずの現代の生活様式が、現代人の体に新たな病気や健康障害を引き起こしていることを指摘し、警鐘を鳴らしている。鉄を使った調理道具や食品から自然に取れていた栄養素やミネラルなどが不足していることや、生活様式の変化から血液や筋肉、骨などを含む体のつくりビタミンミネラルのバランスと腸内細菌のバランスが崩れてきていることなどを指摘した。

その解決法のひとつとしてドライフルーツや紅茶を生活に取り入れることを勧めている。良質な紅茶やドライフルーツに含まれる体に必要な微量成分を簡単に摂ることができるからだ。今回はコージュ社の取り扱う「無添加・無農薬・砂糖ゼロ・自然育成・天日干し」のドライフルーツを7種類も試食させていただいた。



ドライフルーツの数々



コージュ社紅茶

また多くの現代人が強いられている日常での緊張状態を和らげるために、意識してリラックス状態に持つていく習慣をつける大切さも言われ、その習慣のひとつに Tea Break : 紅茶を1日に数回飲むことを提案している。今回は4種類の紅茶をいただいた。

コージュ社の取り扱うお茶は、おいしい茶葉が育つ自然環境を備えているスリランカから直輸入されている。そのお茶は、日本のお茶の約2倍のポリフェノールを多く含んでいるとのこと。ティーバッグになっているので、簡単に扱え、手軽に利用できる。

コージュ社オンラインショップはこちら ⇒ <http://www.coju crimson.shop>

その他、病気が近づかない体づくりへのアドバイスなど報告内容は多岐にわたり、健康に関する質問が活発になされた。速石氏から紅茶やドライフルーツの枠を超えたアドバイスをいただいたことが印象深い。今年1年間健康で過ごすためには何をしたらよいかを考えながら報告会は閉会した。

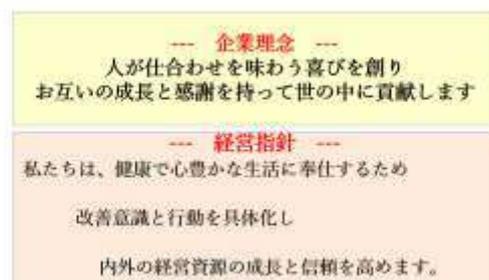


報告会の様子

懇親会はいつもお世話になっている関内のとりろうで行われた。いつものことだが出席者の年齢が30歳代から70歳代までと幅広い割に、お互い気兼ねなくの言いたい放題飲み放題で他から見るとよくわからない集団らしい。今回も他のお客さんから「何の集まりですか？」と質問を受けた。そんな旧知の顔ぶれが並ぶ新年会を兼ねた今回の懇親会に、初参加の[株式会社白興商会](#)の鈴木芳明代表取締役を迎えた。

こちらはおしぼり包装機を販売されている日本でも数少ない企業とのこと。メンバーは興味津々で、その仕組みから業界あるあるまで多岐にわたる質問だけでなく、果ては今後の展望やビジネスチャンスへ向けた自分の意見、その他もろもろ、いきなりブレインストーミングが始まった。基本的に“知りたいし、知っていることを言いたい”姿勢の海老名サロンの懇親会、自分も結局来てしまう理由の一つである。いきなりでしたが、穏やかに対応してくださった鈴木社長、どうもありがとうございました。これに懲りず、またいらしてください。

最後にひとつ。閉会后、コージュ株式会社の企業理念で「幸せ」でなく、「仕合わせ」という漢字表記を使っている点について質問されているのを耳にした。そのやり取りから「[偶然のめぐりあわせから生まれたハッピーな状況のことを表したいときには“仕合わせ”と書く。](#)」ということを知った。



コージュ社 企業理念 (当日の資料より)

実は、この思想は「人と人とのめぐりあわせの種をま

く場でありたい」と願う当サロンの理念と一致する。今回で54回目を迎えた海老名サロン、年6回開催なので、この会で9年が過ぎたことになる。続けてこられたのは、多くの方々の支援のお陰であり、心からの感謝をこの機会に伝えます。月並みですが、「本当にありがとうございました。」

期せずして自分たちの初心を再確認させていただく機会となり、新年早々、襟を正した次第です。2020年もよろしく願いいたします。(文責 後藤)

## ➔ 特別寄稿 「人口増加率全国トップの村」 増田辰弘氏

イグレンの顧問で、アジアの経済・産業や日本から進出している中小企業の活躍等の現状に詳しい増田辰弘氏が、最近雑誌[週刊BCN+](#)に投稿した記事をご本人から提供いただきましたので掲載します。

# 人口増加率全国トップの村



[週刊BCN 2020年01月27日 vol.1810 掲載「視点」](#)

自慢話をするわけではないが、2019年（18年1月1日～12月31日）の住民基本台帳に基づく人口動態調査で、私の出身地である島根県知夫村（ちぶむら）の人口増加率は、前年比3.93%増で東京・千代田区と並びトップとなった。分母となる村の人口そのものは少ないが、この大躍進は少子高齢化が進む日本社会に重要なヒントを与えてくれる。

人口が増えた要因は、**第1に盛り沢山の前向きな政策**にある。第3セクター方式による地域版総合商社の設置、都会の子どもの島留学、インセンティブが魅力的なUターン、Iターン政策などこれまでの常識にとられない政策である。

**第2は地方の持つ特有の因習係数を低めたこと**である。地方の衰退は企業が少なくて選択できる職場が乏しいうえ、さしたる根拠もなく長く続いている地域独特の習慣、因習が排他性を生んでいることである。この因習係数をかなり低めたのだ。

日本経済は年功序列、業界主導、官治（監督官庁）支配、並び文化など農村集落型で、これが高度成長時代は威力を発揮したが、GAF Aに代表される今日のデジタル社会では逆に足かせとなり、生産性が低く先進国では唯一のゼロ成長国家となっている。

**第3はSNSの活用**である。インターネットで「知夫里島の景色」を引くと60万件も出てくる。すさまじい量なのだ。村役場や観光協会が仕掛けたのではなく、島を旅行した人と村人との人情レポートなどが勝手連的に数を増やし、その結果、旅行客を呼び込み注目を集めているのだ。

**第4は、新住民の村人との協調性**である。人口の増加はほとんどがUターンでなく、Iターンである。このIターンの新住民の感性がすばらしい。村人の行事に付き合うレベルではなく、草取りや祭りなどの下働きは、彼らなしでは成り立たなくなっている。

企業でも自治体でも個人の人生でも、長き因習と固定観念に縛られ挑戦、イノベーションを無くしたときに長き停滞は始まる。

逆にどんな悲惨な状況でもあきらめずに挑戦し、イノベーションを仕掛けたときに局面は大きく変わる。人々に忘れられかけていた、日本海に浮かぶ小さな寒村の挑戦がわれわれに教えてくれる。

アジアビジネス探索者 増田辰弘

## → 新連載「社長さんへの手紙」

今月から新連載「社長さんへの手紙」が始まります。イグレンの会員で、中小企業診断士の加藤文男氏が経営者の皆様へ、ちょっと耳の痛くなるようなメッセージを愛情♥をたっぷり込めて送ります。今月は早速ラブ・レター・フロム・テクニカルショウ♥

# 展示会で企業イメージを悪くしないでください

中小企業診断士 加藤文男

社長さんの会社も先日の横浜の展示会へ出展されておりましたね。私も社長さんの会社のブースを訪問させていただきました。その時、社長さんはおられませんでしたがお客様に一生懸命説明する姿がありました。展示会への出展は、説明パネルやディスプレイなど相当お金をかけて準備をします。更に説明のために人も出す必要があります。それなりに期待と効果があるはずですが、今年の社長さんの会社のブースの様子は十分効果があるようには見えませんでした。

その理由は、年配社員の説明員が社長さんの会社のイメージとは大きく異なっていたからです。逆に年配社員のために会社のイメージを悪くされたのではないかと気になりました。社長さんの会社の説明員は、年配の方でプレスがされていない太めのズボンで上着もボタンをはずしていたためかその後ろ姿は乱れてみずぼらしいほどヨレヨレに見えました。その上朝髭を剃ってきたとは思わず、髪の毛の手入れもされてなく乱れた風袋でした。それだけでなく年配社員では体の動きも遅く、製品の説明も歯切れがよいようには見えません。いつもの社長さんの会社のイメージとは相当かけ離れたものでした。残念でしたが私は声をかけずに社長さんの会社のブースを静かに離れました。

**展示会では、ブースの中のすべてを見られています。  
展示物だけでなく、自身の身だしなみにも気を使いましょう。**

展示会は、限られたスペースと時間で企業のイメージを他社の前で最大に披露する貴重なところです。3日間の展示会を少ない人数で運営し、乗り切る必要があります。それだけに展示ブースの展示パネルだけでなく、説明員にも事前に十分準備をさせる必要があります。社長さんの会社の製品は、電気製品の内部に組み込まれる部品であり、目立つ展示方法は難しいと思います。それだけに他社と比較して工夫が必要です。

年配社員は、毎年展示会の経験があり、製品説明には自信があります。しかし、残念ながら、自分自身の姿や形の衰えには気が付かず、現在の真の姿は見えなくなっています。そのため展示会でも服装なども日常のお客様への対応になってしまい、身だしなみに配慮することを怠りがちになります。若い社員は、プレスのない普段の上着と細めのズボンでも展示会という緊張感もあり、服装が少々乱れもてきぱきした行動である程度カバーできます。年配社員の場合は、服装も少々身ざれいにして、日常よりもてきぱき行動するよう注意する必要があります。

年配社員は、社長さんより年上の方が多く、直接あれこれ特別の注意は難しいと思います。展示会は、会社にとって他社への良い印象を持ってもらう貴重な機会です。事前に展示会への説明要員をすべて集めて社長さんから、全員に方針と注意を示してください。若い人には、製品に対する十分な説明と年配の方には身だしなみに関する注意をさりげなく行いたいものです。展示会で企業イメージを悪くしないよう注意したいものです。



## → 閑中閑話

以前からイグレンニュースを陰で手伝っていた私、後藤 <sup>あけみ</sup> 暁が今年からもう少し表に出て手伝うことになりました。今回は海老名サロン報告とこの閑中閑話を書いています。今後ともよろしく願いいたします。



こちらは敬愛する「スナフキン」、フィンランドの作家トーベ・ヤンソンが書いた「ムーミン」シリーズに出てきます。彼はすてきな言葉をいくつか発していますが、そのひとつに「僕は自分の目を見たものしか信じないけど、この目を見たものはどんなに馬鹿げたものでも信じるよ」というのがあります。私もどちらかという、自分で行って、この目を見たものを信じるたちです。

イグレンニュースでもこのスタイルで行こうと思っていますので、いつか皆様のところへお邪魔することがあるかと思っています。その時はどうぞよろしくお願いいたします。

先日見た、今話題の韓国映画「[パラサイト 半地下の家族](#)」でも、「自分が見たもの」をどう信じるか、というのが、テーマの1つだったと思いました。お金で得た善意を信じるか、夢を現実と信じるか、人に言われた嘘を真実と信じるか…。錯覚・願望・情報など寄生するものが多すぎて、真実が分かりにくくなってきている現代社会を監督独自の視点と表現方法で描いていました。あふれる情報に惑わされず、バルサのメッシのように最短距離を見抜いてゴールを決められたら、人生はもっと楽なのかもしれません。

パラサイトと言え、もうひとつ。実は先日、生魚についていたパラサイト（寄生虫）にやられ、ダウンしていました。皆様、生魚は新鮮なものほどよく噛み砕いてから飲み込みましょう。そうすればパラサイトもしっかりと栄養になって、最後は私達の血と肉の一部になってくれるでしょう。（後藤）

## 神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤愛 賢司
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛 ⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

## → 神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7階インキュベーションルーム 703号  
 Tel./Fax : 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」  
**第85回西湘サロン開催のお知らせ**

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

【日時】：2020年3月9日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センターUMECO (TEL:0465-24-6611)

【会費】：参加費1,500円（当日）

\*次回 85回予定：2020年5月11日（月） 18:30～ 場所：UMECO



1. 話題：**地球環境への取り組みの必要性**

株式会社 日向 代表取締役社長 鳥辺 康則氏

年々、地球がおかしくなっていると思いませんか？  
現在、環境対策を行っている大企業も多くなりました。  
私たち中小企業、どの業種でも簡単に出来る環境への取り組みを紹介させていただきます。

- ・地球環境問題について
- ・解決方法
- ・ミラクルな体験談
- ・環境ビジネスについて

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

3. 場所



JR 小田原駅東口より  
徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）（TEL:0465-24-6611）

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込 E-mail [yoshiike@maple.ocn.ne.jp](mailto:yoshiike@maple.ocn.ne.jp)

Tel & Fax 0467-32-5154（吉池）

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	( )
メールアドレス		FAX番号	( )

## 第55回海老名サロン開催要領

I. 日 時 3月13日(金)午後3時より

II. 会 場 神奈川中小企業センター6階大研修室

III. 進 行

1. 資料確認 (3時～3時05分)

2. 報 告

(1) 「大手製造業の国内回帰の動きについて」

神奈川県異業種連携協議会事務局長 愛 賢司

(3時05分～3時35分)

(2) 「わが社の事業紹介と得意技術そして航空宇宙産業への参入」

大同工機株式会社営業部

機械グループシニアアドバイザー三橋 繁 氏

(3時40分～5時00分)

① プラント機器の設計・製造・販売

② 工作機械の販売

③ 航空宇宙産業への参入

(3) 質疑・討論

(5時00分～5時15分)

IV. 交流会 「とりろう」(関内駅前)

\*資料代 1,000円

\*交流会参加費 4,000円

(出欠席 ○の記入をお願いします)

サロン ( 出席 欠席 ) 交流会 ( 出席 欠席 )

ご本人以外のご出席者 (ご芳名・所属をご記入ください)

## 激変するアジアを追いかけてみませんか

### アジアを活用した新しい企業、日本人の生き方を探る

#### 緊急報告

中国新型コロナウイルスの現場からの報告

ー 中国新型肺炎は日本企業、日本経済にどのような影響をあたえるのか。 ー

(株) エヌ・エヌ・エー・(NNA) 編集部長 長野 雅史

現場からの報告 「実態はもっと深刻、そして長期戦になる」

(株) ニッチ・モールド 社長 張 兵

1 中小企業のアジア展開はいかにコンパクトに進めるかが鍵

ー 中国、フィリピンで地道なビジネス展開 ー

(株) 長洲製作所 社長 山野井 清

2 中小企業のアジアビジネスここが落とし穴

ー アジア各国でのコンサルから見えてくるアジアビジネスの現実 ー

きらぼし銀行 コンサルタント事業部

海外戦略アドバイザー

遠藤 容正

●アジア経営戦略研究所 アジアビジネス探索セミナー 発行人 増田 辰弘

---

毎月のようにアジアに出かけておりますと、気が着くのは変化が大変大きなアジア経済です。新しいビジネスの流れをゲストを招いたかたちで探索するアジア経営戦略研究所 「アジアビジネス探索セミナー」を企画いたしました。ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

#### 第78回 アジアビジネス探索セミナーのご案内

日時 2020年3月13日(金) 18:00-20:00

場所 中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル 5F会議室

03(3274)7788

ルノアール貸会議室(東京駅八重洲北口徒歩3分)

#### 緊急報告

中国新型コロナウイルスの現場からの報告

ー 中国新型肺炎は日本企業、日本経済にどのような影響をあたえるのか。 ー

(株) エヌ・エヌ・エー・(NNA) 編集部長 長野 雅史

現場からの報告 「実態はもっと深刻、そして長期戦になる」

(株) ニッチ・モールド 社長 張 兵

1 中小企業のアジア展開はいかにコンパクトに進めるかが鍵

ー 中国、フィリピンで地道なビジネス展開 ー

(株) 長洲製作所 社長 山野井 清

## 2 中小企業のアジアビジネスここが落とし穴

－ アジア各国でのコンサルから見えてくるアジアビジネスの現実 －

きらぼし銀行 コンサルタント事業部

海外戦略アドバイザー 遠藤 容正

## 3 会費 3,000円

(当日、受付でお支払いください。)

### ※ お申し込み/お問い合わせ先

氏名とさしつかえなければ、所属先、部署・役職、ご連絡先を明記の上、

メールあるいはFAXで 事務局までお申込ください。事前の申込をお願いいたします。

※ ◇◇3/13(金)18:00～ 「アジアビジネス探索セミナー」参加申込書

氏名:

会社名:

部署/役職:

TEL: e-mail:

※ 送付先・ アジア経営戦略研究所 アジアビジネス探索セミナー事務局

090-4124-2496

e-mail. mw2pb9skzu@a-b-s-s.jp

### ◆メール配信について

このセミナーはアジアビジネス探索セミナー開催実行委員会が主催しています。

◆今後のアジアビジネス探索セミナーのメール配信をご希望なされない方は、お手数でも下記アドレスまで、配信を停止するアドレスをご記入の上、ご連絡ください。速やかに配信を停止いたします。

第78回5月22日(金)、第79回7月17日(金)、第80回9月25日(金)、第81回11月20日(金)、第82回1月22日(金)、第83回3月19日(金)

次々回の予定 第79回 アジアビジネス探索セミナー

日時 2020年5月22日(金) 18:00-20:00

場所 中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル 5F会議室

03(3274)7788

ルノアール貸会議室(東京駅八重洲北口徒歩3分)

### 注目度1

アジアビジネス探索セミナーのホームページを変更いたしました。まだ、ヨチヨチ歩きですが、ご覧いただけなら幸いです。

<https://asiabizx0188.web.fc2.com/book.html>